

平成 27 年 4 月 30 日

プロジェクト報告書

団体名 社会福祉法人 東京恵明学園

東京恵明学園児童部

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

全国施設見学・職員レクリエーション事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

以前より当学園では、職員研修と福利厚生の職員旅行を兼ねた「全国施設見学・職員レクリエーション」事業を行っていました。その経費としては、交通費、宿泊費、食費などがかかっていますが、通常予算内では足りず、参加する各職員が1名につき2万円ほど実費負担していました。その事業に対する補助として申請いたしました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

平成 26 年度も全職員を 6 つのグループに分け、1 グループ 5～6 名の人数に構成し、事業を行いました。具体的な内容ですが、各グループが職員旅行と施設見学研修を兼ねて 2 泊 3 日の旅行に行くことができました。26 年度の実施実績は、1 班(6 月 16 日～18 日、沖縄県、6 名)、2 班(7 月 7 日～9 日、香川・徳島、6 名)、3 班(9 月 8 日～10 日、熊本県、5 名)、4 班(10 月 6 日～8 日、長崎県、6 名)、5 班(11 月 24 日～26 日、京都府、5 名)、6 班(12 月 8 日～10 日、鳥取・広島県、6 名)でした。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

単なる職員旅行だけにするのではなく、普段訪問できないような遠方の施設を見学し、組織体制や様々な取り組みについて勉強することで、児童のケアの充実を図ることができました。また、見学先の施設とも継続して交流するきっかけにもなり、別の機会に当学園に見学に来ていただくことにもつながりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

別紙「施設見学研修報告書」参照

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

平成 26 年度

真如苑 児童福祉施設支援助成事業

施設見学研修 報告集

1 班 平成 26 年 6 月 16 日
児童養護施設「島添の丘」 沖縄県

2 班 平成 26 年 7 月 7 日
児童養護施設「亀山学園」 香川県

3 班 平成 26 年 9 月 8 日
児童養護施設「慈愛園子供ホーム」 熊本県

4 班 平成 26 年 10 月 6 日
児童養護施設「奥浦慈恵院」 長崎県

5 班 平成 26 年 11 月 5 日
児童養護施設「るんびに学園」 京都府

6 班 平成 26 年 12 月 8 日
児童養護施設「鳥取子ども学園」 鳥取県

東京恵明学園児童部